

(別添3)

**【芦屋町】**  
校務DX計画

1. 「校務DX チェックリスト自己点検結果」における課題等について

「GIGA スクール構想の下での校務DX チェックリストの自己点検結果」(文部科学省令和5年11月実施)の自治体別達成状況では、学校設置者向けの点数が115点(福岡県平均202.1点)、学校向けの点数が290.5点(福岡県平均366.6点)と福岡県平均を大きく下回っている結果となっています。

学校設置者向けの主な原因としては、校務支援システムの未導入や学校との連絡がメールや紙媒体でのやり取りが多く、学校及び教育委員会間のデジタル化が進んでいないことが主な要因として考えられます。

学校向けの主な要因としては、保護者連絡ツールの導入により教員・保護者間の出欠連絡や配布物のデジタル化は進んできているものの、校務系ネットワークが、閉鎖域での運用となっているため、クラウド化やペーパーレス化が進まない要因と考えられます。

2. 校務DXの今後の方針

本町の校務DXの今後の方針について、統合型校務支援システムの導入に向けふくおか電子自治体共同運営協議会の共同調達に参加し、令和8年度の導入を進めます。

統合型校務支援システムについては、パブリッククラウド上での運用となるため、現状の閉鎖域で運用している校務系ネットワークを学習系ネットワークとの統合の検討を進めていくとともに、現在校務系・学習系のそれぞれで使用している端末を1台に統合し、業務の効率化を図ります。

統合型校務支援システムの導入やネットワーク統合に伴う1台端末化、クラウドツールを活用したペーパーレス化などのデジタル化を推進することで、教職員の事務負担等を軽減し、児童生徒と向き合う時間を確保し、教職員の働き方改革に繋げていきます。